

- 日時：平成29年6月30日（金） 15:45～17:00
- 場所：本校会議室
- 出席者

＜協議会委員＞

木戸 秀樹氏（堺市立若松台中学校校長）、中村 俊一氏（立志館ゼミナール館長）、池内 博一氏（大阪電気通信大学 専任講師）、古川 靖子氏（泉北高校 PTA 会長）、青木 祥子氏（泉北高校後援会 会長）

1. 校長挨拶：学校協議会の役割の確認

学校経営計画・学校評価に関する事項に基づいた取組みに対して意見を頂きたい

2. 各協議会委員からご意見をいただいた。

- 理科教室の取組みについて、引き続き実施して欲しいと強く思う。
- 大学から見ると全く違う気づきがある。大学とは異なる良さを確認させてもらっている。
- 塾の経営者として、地元の公立高校に進学する自身の生徒の可能性を叶える教育活動になっているか、客観的に確認したい。

3. 本年度の学校経営目標とその取組みについて

○ 経営目標

- ・ 生徒が安心して学校生活をおくることができる学校づくり
- ・ 勉強と部活動の両立
- ・ 学習への関心を継続的に持たせること
- ・ 教員の資質向上への取組み

○ 本年度の取組みについて

- ・ 各教員が授業力向上のため、授業見学月間を設定し、ベテランもしくは ICT 技量の高い教員の授業を見学する。
- ・ 家庭学習時間の増加。
- ・ 課題研究において、研究の指導の支援として OB の活用方法。
- ・ HP の充実と相談室と支援教育との連携。
- ・ 若手教員の資質向上として、新規採用3年目までの教員と採用試験合格をめざす教員を対象に研修を実施。
- ・ 文部科学省事業の留学「トビタテ！留学 JAPAN」に生徒3名が採用された。
- ・ 骨太の英語力養成事業：英語力向上 TOEFL iBT スコア 60 点以上の取得者 8 名以上を目標。
- ・ 台湾で英語によるポスター発表を予定（12 月）。
- ・ 科学の甲子園、学生科学賞、気象学会、動物学会に参加予定。
- ・ 6 月に高大連携講座は 152 名参加、7 月に大学訪問研修 29 研究室に訪問。
- ・ 遅刻者を 1 割減らす。

4. 協議

本校の取組みについて以下のような意見があった。

- 大学入試改革の動向 記述式テストや英語の外部テストへの対応について
- 若手教員の育成に関する具体的な取組みについて
- 遅刻者の内訳や中途退学・不登校の状況について
- 部活指導を担当する教員の仕事量負担について
- 学校経営計画について7年間の取組みは評価できるが、一方で教員の異動による教育活動への影響（質の維持と発展）について
- 英語の取組みは本当に親として生徒を育ててくれたと思っているので、継続的に発展的に実施して欲しい。
- 生徒の進路など、グローバル教育の成果について